

2025 年度厨房設備士試験実技試験結果 講評

2 級

- (1) 厨房平面・展開図を見て不適切箇所を指摘し、その理由と改善策を答える問題

厨房設計者・機器設置施工者及び厨房に携わる者として、知っておくべき知識、法的な禁止事項、設置時のルールを習得するために、厨房配置図の平面図・展開図を見て不適切な 6 箇所を指摘し、その理由と改善策を答える問題でした。今回も隔年で出題されていることも有り不適切箇所については高い正解率でしたが、理由と改善策については改善策の回答が入っていない人が目立ちました。また今回は離隔距離表示銘板を載せることにより離隔不足の回答を促しましたが、正解率は半数程度だったようです。

- (2) 厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題

① 機器の穴埋め

機器の選択については、多くの受験者が作業フローを理解しており高い正解率でした。しかし今回「ガス立体炊飯器」について判断に迷った方が見受けられ、自動計量洗米機が隣に有るにも拘らず電気コンベクションオーブンを作図したり、スチコンが有るにも拘らずガススチームコンベクションオーブンを作図した回答が散見されました。

また図形の描き方が不適切なものが多くあったことも残念な部分です。WEB 講習でも解説している通り、図面は誰が見ても機器が判断できる図形を描く必要があります。

(図形の不適切例)

- ・冷蔵庫 : 扉の軌跡の描き方が三角になり雑な人が多い。高さのある機器を表す一点鎖線が抜けている。
- ・ガス立体炊飯器 : 機器の平面図形が理解できてない。扉の軌跡が表現できていない。
- ・クリーンテーブル : カマチの表現が無く単なる四角のみの描写。
- ・ガステーブル : 丸五徳でも問題はないが五徳らしい爪の表現が無くただの丸である。

② シンボル・フード記入

全体的には高い正解率でした。

(間違いの多かった箇所)

- ・食器洗浄機の排水シンボル抜け、シャワーシンクのコンセント抜け。
- ・また図形を描かない機器のシンボル抜け。
- ・フード記載についてはフードサイズが小さく不適切な記載が多い。

③ 機器リスト空欄埋め

機器の穴埋め同様、機器リスト空欄埋めも高い正解率でした。

(間違いの多かった箇所)

- ・シャワーシンクに光電センサー付と記載したが、電気マーク抜けが多数。
- ・ガス立体炊飯器・ガスゆで麺器のフード欄が○でなく㊟。
- ・機器リストとの整合性が取れていない設備○の記入抜け。

まとめ

個々の設問については比較的正解率は高かったと思いますが、設計実技の平均点から見ると例年並み程度でした。

不適切箇所の指摘については、過去の出題傾向である事から過去問題を勉強していれば比較的解答はし易い問題です。事実過去問題の解答例に近い解答をしている方が多く、一方で勉強をしていないだろうと判断できる解答も多かった事も事実です。また、理由及び改善策の両方の記載がない解答も多く、その場合は不正解とさせて頂きました。

厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題は例年と同じ傾向の出題方法でしたので比較的高い正解率でした。しかし今回はガス立体炊飯器の判断が出来なかった人が多かった事、平面図形が理解できていない人が多数おりました。食器洗浄機においては機器表の排水に○が有るにも拘らずシンボルを忘れた方が多くおりました。また、シャワーシンクでは機器表に「光電センサー付」と記載しコンセントシンボル、機器表に○を促したつもりでしたが、理解できていない人が大半だったことは残念です。問題文の一文に「平面図と厨房機器表の整合性をとること」と記載しておりますが、この部分が出来ていない人が多かったです。機器表も1行1行をしっかりと見て平面図と見比べて機器に必要な設備を判断し記入漏れが無い様にして頂きたいと思います。

今年に限りませんが、全体的に図形の描き方が良くない図面が目立ちました。WEB講習でも話している通り図面は誰でも機器が判断できるように描くことが基本です。手描きだからと言ってフリーハンドで「雑」に描いたり、描いた本人しか解らない機器図形では相手には伝わりません。余りにも雑な図形や判断し難い図形は不正解としています。昨今はCADによる作図で、設計職でも手描きする事は少ないですが「図面」の意味を理解し解答をして頂きたいと思います。